

## 大山の昆虫

大山の多くの生態系は多様な昆虫や小さな無脊椎動物も支えている。高山植物が咲き乱れる人里離れた場所において 120 種類以上の蝶が発見されている。低地では、特に阿弥陀堂への道沿いで、アゲハ蝶がクサギのラッパ型の花の蜜を吸う姿を頻繁に見せる。山頂近くの草原では、青と赤褐色の優雅なアサギマダラ、大胆な縞模様のギフチョウ、半透明の羽根を持つウスバシロアゲハ（ウスバシロチョウ）に出会えるだろう。生育地が減少しているためにヒョウモンチョウによく似たウスイロヒョウモンモドキとヒメヒカゲの 2 種が絶滅の危機にある。

大山ではオサムシ、コガネムシ、ハンミョウなど約 1,000 種類の甲虫類が見つまっている。大型クワガタムシがミズナラやスギの上に何匹かいるのが見られる。カブトムシに加えて、オオモンクロベッコウ（スズメバチのメス）が動けなくなった蜘蛛を引きずって巣に戻るところを目にするかもしれない。孵化したばかりの幼虫がすぐに食事にありつけるように、蜂は獲物に針を刺すとその上で卵を抱く。

大雨が降るときよっとするような見た目の無脊椎動物も姿を現す。美しい筋のある陸生カタツムリのダイセンニシキマイマイは大山という名のつくものであり、もうひとつの陸生カタツムリ、オオケマイマイの殻にはみっちり毛が生えている。雨が降ると、体長 30 cm に達し長くて 2 年もの寿命を持つ巨大なシーボルトミズも土から出てくる。